

平成 24 年 9 月 15 日

バンガロール日本人会御会員 各位

Sneha Care Home and Shining Star School

Volunteer, 日下 都

拝啓 ご面識なく突然にご連絡致します失礼をどうかお許し下さい。

この度、貴会理事会よりご承諾頂き、ある施設について書く機会を頂戴致しました。私は、9月現在、バンガロール市郊外にあります Sneha Care Home and Shining Star School という施設でボランティア活動をしております。具体的には、5才から14才の子供達に英語や算数等の科目を教えています。この施設には約100人程の子供がいますが、全員 HIV に感染しています。私は、この施設において今年7月から10月末まで活動を行う予定です。

スタッフの方より、インド、ヨーロッパの先進国、アメリカ及びカナダ等からは多数の教員ボランティアが来ているが、日本からは初めてだと言われました。そのため、この施設は日本人の方々には知られてはいないのではないかと思い、勝手ながら貴会にご連絡致しました次第です。

インドは、HIV感染者数が240万人以上いるといわれ世界第3位の多さです。また、カルナータカ州には、1万7千人以上の小児感染者がおり国内第3位です。この事実に、ほとんどのインドの人々は関心がないように思えます。一方、日本は幸い HIV 感染者数の割合が総人口に比し最も少ない国の一つであり、小児の感染者はほぼ皆無です。それ故、インドの子供の HIV 感染についてご関心をお持ち頂くのは難しいかもしれません。

しかしながら、少しでもご関心をお示し下さる方がいらっしゃいましたらこの施設をご紹介する機会を頂けないかと思

いました。

私事で恐縮ですが、日本では薬剤師として働いていたため科目を教える傍ら、インド、日本、アメリカ及び WHO における抗 HIV 薬及び治療法の比較をしております。そこには、大きな違いがあります。経済的理由が主たる原因です。この結果を考察し学会等に提出する予定です。

長々と大変失礼致しました。Sneha Care Home について書き申し上げる機会を頂き、貴会理事会の方々のご親切なご配慮に深く感謝申し上げます。また、貴会御会員皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

敬具

Sneha Care Home and Shining Star School ; <http://www.snehacarehome.org>

